

令和7年度 小金井市立東中学校 授業改善推進プラン

1 授業改善の方針

- 「主体的な学び」を実現するための質の高い学習過程（東中スタイル）を追求する。
- 基礎基本の徹底と学習習慣を育成し、学びのサイクルの構築と持続的な学習を推進する。

2 生徒の現状分析

（１）全国学力・学習状況調査

国語	○「話すこと・聞くこと」で東京都・全国平均を下回っており、課題となる。「読むこと」では、ほぼ平均並みだが、短答式では平均を大きく上回っている。
数学	○学習指導要領の領域、評価の観点ともに、すべて東京都、全国平均を上回っているが、確率の単元については課題がある。

（２）生徒・保護者・教職員アンケート

- 小・中・高の学習の連続性について課題がみられる。小学校の学習で何を学んできたか、高等学校の学習にどのようにつながっていくかを意識して指導にあたる。

3 各教科等における授業改善の視点

国語	○ICTを活用して書く機会を増やし、他者と交流しながら表現の幅を深める。 ○自ら問いを立て探求する活動を追求し、表現力や読解力を高める。
社会	○新聞等を用いて現在の社会情勢について興味・関心をもたせる。 ○毎授業で何を考え、何を思ったかなどを振り返り、共有する時間を設ける。
数学	○生徒自身が主体的に解決していくことで、学習内容の理解が深まる授業展開を行う。 ○思考力を高める問題を積極的に扱い、グループ活動を通して自ら論理的に説明する場面を増やす。
理科	○ICTも活用しながら実験・観察が中心の授業を行い、体験した自然事象について主体的に思考する時間を増やしていく。 ○教員が答えを教えるのではなく、集団で学びあう時間を十分にとり、教員はその調べ方・考え方について助言するサポート役に回る。
外国語	○ICTを用いて教科書の題材や言語材料の導入を行う。その際、導入方法の共有と助言をし合うことで、生徒の興味を引きつける指導をする。 ○単元終末に行う言語活動の目的・場面・状況の設定を校内及び市教研の英語部会で共有し、生徒の興味・関心を喚起する設定をできるようにする。
音楽	○歌唱や楽器、創作は技能の習得だけでなく、「音楽に対する自分の思いや意図」や「今後の課題」をまとめる時間を設け、主体的に表現活動、創作活動に取り組ませる。 ○鑑賞では曲が作られた時代背景を考えたり、音楽以外の物事と結びつけたりしながら様々な角度から曲を捉え、深い学びを実現する。
美術	○制作の過程や発想構想の段階を充実させ、新しいものを作り出す創造力を養うとともに、考えたことを整理し表現する力を養う。 ○生活の中の美術の働きについてより実感できるように、身近な生活の中から題材を設定する。
技術 家庭	○工具や工作機械の使用方法については、デジタルコンテンツを活用し、見通しをもって問題解決のものづくりができるようにする。 ○実際に、身近な生活の中にあるものや社会情勢の中から具体的な教材を提示し、自分ごととして考察する機会を作る。

保 健 体 育	○実技において、仲間にアドバイスをする場合、まず気づいたことをメモし、それをもとにコミュニケーションをとらせる。 ○ICT : Chromebook やパワーポイントを使用して、技能のイメージ化を図るとともにポイントの明確なイラストや画像を用意したりするなどして、指導する内容を視覚化する。
道 徳	○話し合い活動や意見交流の場面を多く設定し、考え・議論する授業展開を目指す。 ○いじめに関する授業を学期に1回は取り入れる。
総 合	○学習活動に系統性をもたせ、3年間をかけてプレゼンテーション能力などの思考力・判断力・表現力の向上を目指す。 ○キャリア教育を主軸として、1 学年では職業調べ、2 学年では上級学校調べなど、3 年間の学習内容に系統性をもたせる。